

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 1

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	専門科目
------	------------------	------	------

試験時間は2時間30分です。試験監督から指示があるまで、この表紙をめくってはいけません。
次ページ以降に6分野について問題が、右上にNo.2～No.7と番号付けされた用紙に分けて出題されています。ただし、一つの分野の問題が複数枚にわたる場合について、例えばNo.2が7枚にわたる場合にはNo.2-1～No.2-7のように番号付けされています。

これらの6分野から必須1分野の他に3分野を選択して解答用紙に解答しなさい。必須分野の配点は140点、選択分野の配点は210点です。解答にあたっては、解答用紙の表紙の指示に従いなさい。

解答開始の合図の後、各分野の問題について下表中に示すNo.の用紙が綴じ込まれていることを確認しなさい。用紙に乱丁・落丁がある場合には、手を挙げて試験監督に知らせなさい。

	分野名	問題用紙の ページ番号
必須	アルゴリズムとデータ構造及びプログラミング	No.2-1～2-7
選択	情報数学	No.3
	計算機アーキテクチャ及びオペレーティングシステム	No.4-1～4-3
	データベース	No.5-1～5-2
	コンピュータネットワーク	No.6-1～6-3
	ソフトウェア工学	No.7

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 2-1

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

問(a) 配列、および連結リストに関する以下の設間に答えなさい。ただし、配列と連結リストはそれぞれ n 個の要素を持ち、 n は十分に大きいとする。

- (1) 一般的に、要素数が等しい場合におけるメモリ消費は、連結リストの方が配列よりも大きい。その理由を50字程度(または20-30 words)で説明しなさい。
- (2) 任意の要素にアクセスするための時間計算量をその理由とともに説明しなさい。配列と連結リストのそれぞれにつき100字程度(または40-60 words)で記述すること。
- (3) 連結リストを用いてキューを実装する。このとき、enqueueとdequeueの双方を要素数 n によらず一定時間で行いたい。これを実現するための方法を、図を用いて説明しなさい。

【後期募集】

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 2-2

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

問(b) No. 2-3からNo. 2-5に渡って示すソースファイル「Date.cpp」には、西暦の年(year), 月(month), 日(day)の日付を処理するDateクラスの宣言・定義と、標準入力から入力された日付(年月日)を操作するプログラムのソースコードが記述されている(C++言語)。このソースファイルについて、以下の設問に答えなさい。

- (1) メンバ関数leap_year()は、データメンバのyearがうるう年(2月が29日まである年)か否かを判定する関数である。以下の<うるう年の判定方法>を参考にして、関数leap_year()が、yearがうるう年であればtrueを返し、うるう年でなければfalseを返す関数となるよう、空欄 (ア) に当てはまるコードを記述しなさい。

<うるう年の判定方法>

- ① 西暦の「年」が、4で割り切れる年をうるう年とする。
- ② 上記①の例外として、西暦の「年」が100で割り切れて400で割り切れない年は平年(うるう年ではない年)とする。

- (2) 上記の問(1)の題意を満たすコードが正しく記述されたことを前提として、このソースファイルをコンパイル・実行したとき、ソースコード中の(イ)の部分の実行で標準入力(キーボード)から以下のとおりに「年 月 日」の数値が入力された場合、ソースコード中の(ウ)のforステートメントの実行による標準出力(画面)への出力をすべて示しなさい。

<標準入力(キーボード)からの入力の様子(下線部が入力部分)>

年月日を入力 : 2019 12 28

- (3) 上記の問(1)の題意を満たすコードが正しく記述されたことを前提として、このソースファイルをコンパイル・実行したとき、このソースコード中の(エ)の部分の実行によって、以下の実行(出力)結果のように、入力した年月日から3日分遡る年月日を表示したい。このとおりの実行結果となるよう、関数Date& Date::func2()内の空欄 (オ) ~ (ク) に当てはまる適切なコードを記述しなさい。

<実行(出力)結果(下線部は入力部分)>

年月日を入力 : 2019 1 2

2019年1月1日

2018年12月31日

2018年12月30日

- (4) このソースコード中の(ケ)の部分のコードは、どのようなことを想定した処理か、30字程度(または15-20 words)で説明しなさい。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入学試験問題

No. 2-3

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

Date.cpp

```
#include <new>
#include <iostream>
using namespace std;

//日付クラス
class Date {
    int year; //年
    int month; //月
    int day; //日

    static int n_days[12];

    bool leap_year() const {
        return ( (ア) );
    }
    int days_of_month() const {
        return n_days[month - 1] + (month == 2 && leap_year());
    }
public:
    Date(int year = 2000, int month = 1, int day = 1);
    void set_date(int year, int month, int day);
    void show_date() const;
    Date& func1();
    Date& func2();
};

int Date::n_days[12] =
{ 31, 28, 31, 30, 31, 30, 31, 31, 30, 31, 31 };

Date::Date(int year, int month, int day) {
    set_date(year, month, day);
}

//次ページへつづく
```

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No 2-4

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

```
//前ページからのつづき
void Date::set_date(int year, int month, int day) {
    this->year = year < 2000 ? 2000 : year > 3000 ? 3000 : year;
    this->month = month < 1 ? 1 : month > 12 ? 12 : month;
    this->day = day < 1 ?
        1 : day > days_of_month() ? days_of_month() : day;
}

void Date::show_date() const
{
    cout << year << "年" << month << "月" << day << "日" << endl;
}

Date& Date::func1()
{
    if (day<days_of_month())
        ++day;
    else {
        if (++month > 12) {
            ++year;
            month = 1;
        }
        day = 1;
    }
    return *this;
}

Date& Date::func2()
{
    if ( (才) )
        --day;
    else {
        if ( (力) ) {
            --year;
            month = 12;
        }
        day = (キ) ;
    }
    return (ク) ;
}
```

//次ページへつづく

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入学試験問題

No. 2-5

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

```
//前ページからのつづき

int main()
{
    cout << "年月日を入力：" ;
    int year, month, day;
    cin >> year >> month >> day; } (イ)

Date the_day(year, month, day);

Date* days;

try {
    days = new Date[40000];
}
catch (bad_alloc) {
    cout << "メッセージ\n";
    return 1;
}

days[0] = the_day;

for (int i = 1; i < 7; ++i) { days[i] = the_day.func1();
    days[i].show_date(); } } (ウ)

delete[] days;

cout << "年月日を入力：" ;
cin >> year >> month >> day;
the_day.set_date(year, month, day);
the_day.func2().show_date();
the_day.func2().show_date();
the_day.func2().show_date(); } (エ)

return 0;
}
```

【後期募集】

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入学試験問題

No. 2-6

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

問(c) 整列に関する以下の設問に答えなさい。

- (1) 長さ n の整列済みの配列 S を考える。いま S に新しい要素 e を追加し、長さが $n+1$ の整列済みの配列 S' を求めたい。このとき挿入ソートを用いれば S' を時間計算量 $O(n)$ で求めることができる。この理由を説明しなさい。
- (2) 上記(1)において e を挿入すべき S 上の適切な位置は、二分探索によって時間計算量 $O(\log n)$ で求めることができる。しかし S' を求めることを考えると、(1)の方法のほうが効率がよい。この理由を説明しなさい。
- (3) 長さ n の整列済みの配列 S および長さ m の未整列の配列 T を考える。いま S と T の各要素からなる長さが $n+m$ の整列済みの配列 U を求めたい。ここで n は十分に大きく、また $m < n$ とする。このとき時間計算量が $O((n+m)\log(n+m))$ より小さい高速なアルゴリズムを示しなさい。
- (4) 上記(3)のアルゴリズムの時間計算量が $O((n+m)\log(n+m))$ より小さくなる理由を説明しなさい。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 2-7

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	アルゴリズムとデータ構造及び プログラミング
------	------------------	------	---------------------------

問(d) DNA は 4 つの塩基 (アデニン(A), グアニン(G), シトシン(C), チミン(T)) からなる配列で表現される。いま、DNA の塩基配列を文字列 $t = t_1t_2 \cdots t_n$ ($t_i \in \{A, G, C, T\}$) とし、ここから特定のパターン $p = p_1p_2 \cdots p_m$ ($p_i \in \{A, G, C, T\}$, $n \geq m$) を検索することを考える。すなわち、 $p = p_1p_2 \cdots p_m = t_jt_{j+1} \cdots t_{j+m-1}$ となる j があるとき、 p は位置 j で t に照合すると定義する。ここで、 p が照合する t の位置をすべて求めたい。この条件のもとで、以下の設問に答えなさい。

- (1) 文字列 $t = \text{AGAGCATAGCAGAC}$ からパターン $p = \text{AGCAG}$ を検索する。 p が照合する t の位置 j をすべて答えなさい。
- (2) p が照合する t の位置 j を力まかせ (brute-force) 法で見つける。具体的には、図 1 のように p と t を並べて $p_1p_2 \cdots p_m$ の順にそれぞれ対応する t の文字との一致を調べる。 p が位置 j で t に照合すればそのときの j を出力し、 p が t の右端に到達するまで、この手続きを繰り返す。以上のような力まかせ法で、文字列 $t = \text{AGAGCATAGCAGAC}$ からパターン $p = \text{AGCAG}$ を検索する過程を、図示して説明しなさい。

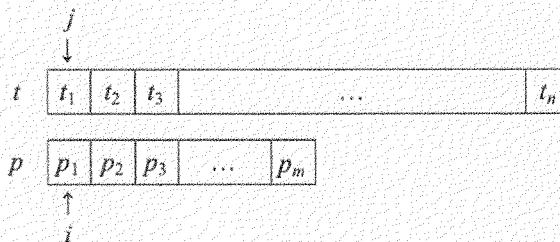


図 1

- (3) 上記の力まかせ法では、パターン p を 1 つずつずらして比較するため、無駄な比較が発生する。この問題を解決するためにボイヤー・ムーア (Boyer-Moore) 法が考えられた。本手法では (a) パターンの後ろから比較し、(b) 不一致ならばパターンをできる限りずらす、という戦略がとられる。

- (3-1) 上記 (b) を実現するために必要な前処理について、パターン $p = \text{AGCAG}$ を例に使って具体的に説明しなさい。
- (3-2) ボイヤー・ムーア法で文字列 $t = \text{AGAGCATAGCAGAC}$ からパターン $p = \text{AGCAG}$ を検索する過程を、図示して説明しなさい。
- (4) 力まかせ法とボイヤー・ムーア法による文字列照合の時間計算量について、それぞれ最良の場合と最悪の場合を挙げて説明しなさい。

【後期募集】

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 3

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	情報数学
------	------------------	------	------

問(a) 符号化に関する以下の各間に答えなさい。

- (1) 2元符号における固定長符号と可変長符号について 200 字程度で説明しなさい。説明には、符号の長さ、符号の区切り、符号の高能率化(短縮化)の観点による対比と、実用化されている符号の例を含めなさい。
- (2) 通信路符号化における符号の冗長性の役割について 100 字程度で説明しなさい。

問(b) 次の論法を命題式で記述し妥当性を調べなさい。

前提:

普段練習していないければ、アマチュア卓球大会で優勝できない。

仕事が忙しくなければ、練習をよくする。

Aさんはアマチュア卓球大会で優勝した。

結論:

Aさんは忙しくない。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 4-1

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	計算機アーキテクチャ及び オペレーティングシステム
------	------------------	------	------------------------------

問(a) 2進1bitの加算器、およびそれを用いた4bitの演算回路について以下の設問(1)~(3)に答えなさい。

(1) 図1は2進1桁(1bit)の全加算器(FA)をブロック図で示したものです。入力 x と y はそれぞれ被加数と加数、入力 c_{in} は下位桁からの桁上がりです。また出力 f は和、出力 c_{out} は上位桁への桁上がりです。この全加算器FAについて、真理値表を作成しなさい。解答に際し、表1の真理値表を解答用紙に転記し、その表に f 、 c_{out} の値を記入しなさい。

(2) この1bit全加算器FAを4つ使い、図2に示すような4ビットの演算回路を構成します。4本の制御入力(s_2, s_1, s_0)が以下の4つの値を取る場合について、4bitの演算出力 $F = f_3 f_2 f_1 f_0$ がどのような値になるかを

$$\text{入力 } X = x_3 x_2 x_1 x_0$$

$$\text{出力 } Y = y_3 y_2 y_1 y_0$$

を用いて記しなさい。例えば「 F は X と Y の和、つまり $F = X + Y$ 」などのように記します。

【場合1】: $(s_2, s_1, s_0) = (0, 0, 0)$

【場合2】: $(s_2, s_1, s_0) = (0, 0, 1)$

【場合3】: $(s_2, s_1, s_0) = (0, 1, 1)$

【場合4】: $(s_2, s_1, s_0) = (1, 0, 1)$

 AND回路

 OR回路

 NOT回路

凡例: 図2で用いる論理
素子の記号

表1. FAの真理値表

x	y	c_{in}	f	c_{out}
0	0	0		
0	0	1		
0	1	0		
0	1	1		
1	0	0		
1	0	1		
1	1	0	0	0
1	1	1	1	1

図1. FAのブロック図

1 1 0

1 1 1

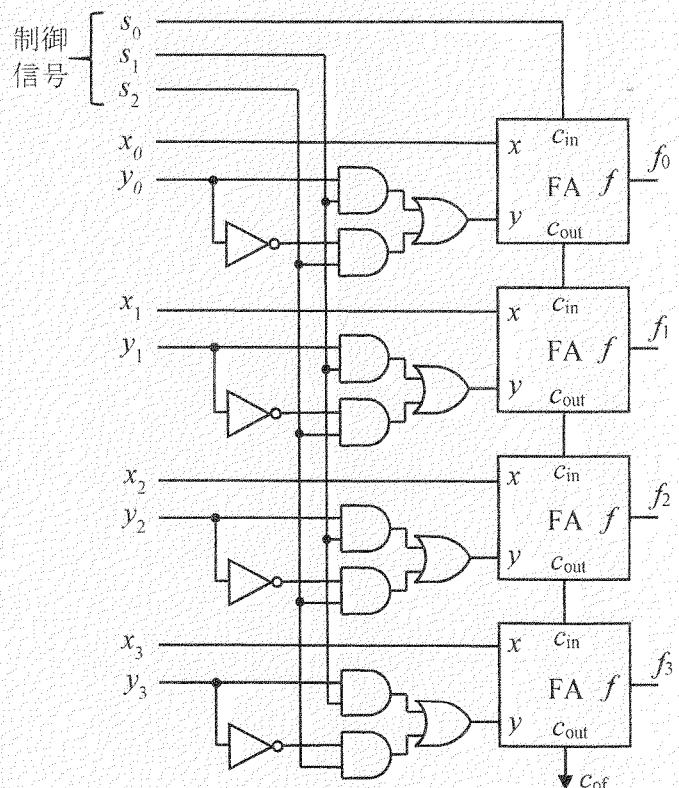


図2. FAを用いた4bit演算回路

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 4-2

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	計算機アーキテクチャ及び オペレーティングシステム
------	------------------	------	------------------------------

- (3) いま、図1のFAの入力 x, y, c_{in} のすべての値が確定してからその出力 f と c_{of} が確定するまでの遅延時間が 4 ns であるとします。また、FAを用いて構成した図2の 4 bit演算器において、論理素子AND, OR, およびNOTの各入力が確定してから出力が確定するまでの遅延時間がいずれも 1 ns であるとします。図2の4 bit演算回路において、制御入力が $(s_2, s_1, s_0) = (1, 0, 1)$ で固定(上記(2)の【場合4】)、また $X = x_3x_2x_1x_0$ および $y_3y_2y_1$ が既に確定済みであるとします。このとき、未確定だった入力信号 y_0 が確定した後、演算結果 $F = f_3f_2f_1f_0$ が全て確定するまでに要する遅延時間を求めなさい。ただし、遅延は論理回路内でのみ発生し、論理回路を相互接続する結線での遅延は無視できるとします。

問(b) メモリアクセスにおける参照の局所性 (locality of reference) に関する以下の設間に答えなさい。

- (1) メモリアクセスにおける参照の局所性とは何か、60~70 文字程度で説明してください。
- (2) この参照の局所性は計算機アーキテクチャやオペレーティングシステムのどのような仕組みに応用されているか、例を 2 つ挙げてください。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 4-3

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	計算機アーキテクチャ及び オペレーティングシステム
------	------------------	------	------------------------------

問(c) OS のスケジューリングアルゴリズムに関する以下の設間に答えなさい。

- (1) スケジューリングアルゴリズムをノンプリエンプティブ (non-preemptive) 方式とプリエンプティブ (preemptive) 方式で比較します。このとき、プリエンプティブ方式の特徴としてあてはまるものを、以下の (a)～(e) からすべて選んでください(過不足は減点の対象になります)。
 - (a) OS がプロセスの CPU 使用時間や優先度を管理することにより実現される
 - (b) コンテキスト切替えのためのオーバヘッドが大きい
 - (c) 特定のプロセスが CPU を独占することが多い
 - (d) ハードウェアタイマを利用することで実現される
 - (e) プロセスの動作中、優先度の高い他のプロセスから割り込まれることがある
- (2) 到着時刻と単独実行時の処理時間が以下の表の通りであるプロセス A～D を実行します。スケジューリング方式にラウンドロビン (round-robin), 処理時間順 (SJF: shortest job first) のそれぞれを使用した場合について、プロセス B の実行終了時刻を答えなさい。ここで、ラウンドロビンのタイムクォンタムは、プロセスの処理時間に比べて十分に小さいものとし、プロセスの切り替え時間などの OS のオーバヘッドは無視できるものとします。また、プロセスの優先度はすべて同じであるとします。

プロセス	到着時刻 (s)	単独実行時の処理時間 (s)
A	0	4
B	1	2
C	3	1
D	6	3

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 5-1

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	データベース
------	------------------	------	--------

問(a) 次の用語を簡潔に説明しなさい。

(1) 主キー

(2) 完全関数従属性

(3) 第1正規形

問(b) ある会社では以下のような3つのテーブルを用いて商品の情報と売上状況を管理している。下線のある属性は主キーを表す。

商品:

商品コード	商品名	単価	商品分類コード
-------	-----	----	---------

商品分類:

商品分類コード	商品分類名
---------	-------

売上明細:

売上番号	売上明細番号	商品コード	数量
------	--------	-------	----

(1) このとき商品分類名が「タブレット端末」である商品について、商品コード、商品名とその売上数量の合計を抽出する以下のSQL文の空欄を埋めて完成させなさい。

SELECT 商品.商品コード, 商品.商品名, SUM(売上明細.数量)

FROM [] (a)

WHERE 商品.商品コード = [] (b) AND

[] (c) AND

[] (d) = 'タブレット端末'

(2) 上記SQL文と同等の結果を出力するように、副問合せを用いる形にSQL文全体を書き換えなさい。
出力される行の順番は気にしなくて良い。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

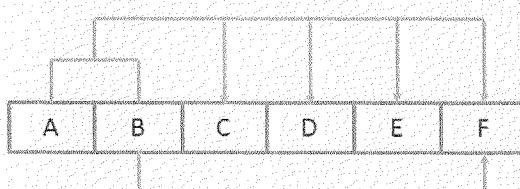
入 学 試 験 問 題

No. 5-2

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	データベース
------	------------------	------	--------

問(c) 次の正規形に関する問題に答えなさい。

- (1) 属性 A～F からなる関係がある。この関係の主キーは、属性 A と B を組み合わせたものである。また、属性 F は属性 B によって特定できる。この関係を第3正規形に正規化した結果を示しなさい。



- (2) 次の関係はどこまで正規化されたものか。その理由を説明しなさい。

社員番号	名前	入社年	職位	職位手当
2020001	山梨太郎	1988	部長	90,000
2020002	甲府花子	2002	課長	50,000
2020003	武田次郎	2004	課長	50,000

- 問(d) t1～t10 の時刻でスケジュールされたトランザクション T1～T4 がある。ここで、select(X) は共有ロックをかけて資源 X を参照することを表し、update(X) は専有ロックをかけて資源 X を更新することを表す。これらのロックは commit されるまでアンロックされないものとする。時刻 t10 で T1 が commit を発行する直前の、トランザクションの待ちグラフを作成してください。トランザクションの待ちグラフの矢印は、Ti → Tj とした時、Tj がロックしている資源のアンロックを、Ti が待つことを表す。

時刻	トランザクション			
	T1	T2	T3	T4
t1	select(X)			
t2			select(Y)	
t3		select(Y)		
t4		update(Y)		
t5	select(Z)			
t6				select(X)
t7			select(Z)	
t8			update(Z)	
t9				update(X)
t10	commit			

図例



令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 6-1

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	コンピュータネットワーク
------	------------------	------	--------------

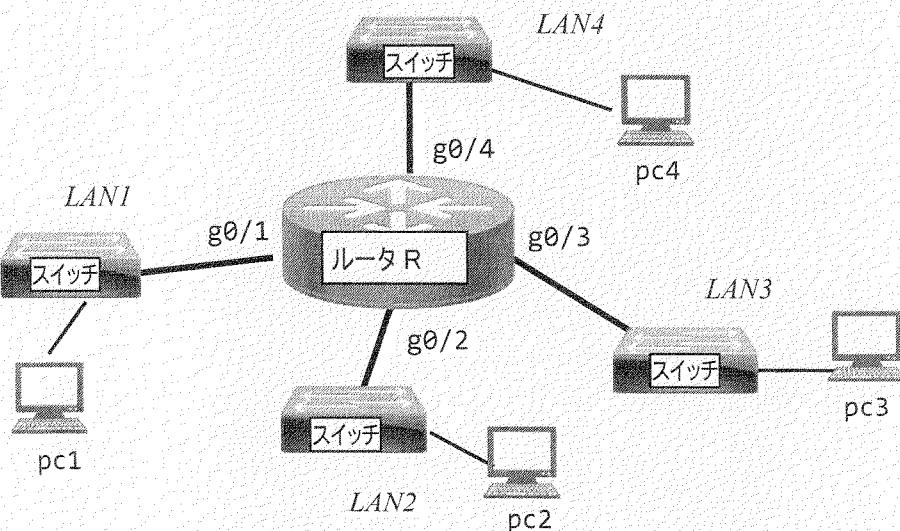
問(a) ネットワークアドレス 10.1.2.0/24 を利用して下図のネットワークにアドレス割り当てを行う。以下の問い合わせに答えなさい。

- (1) 共通のサブネットマスクを使用し、ルータRに接続するネットワークが次の条件を満たすように設定する。ルータとLAN内のPCへのアドレス割り当てに関する解答用紙の(1)の表を完成しなさい。

- 各ネットワークに接続可能なPCの台数を最大にする。
- ネットワークアドレスの第4オクテットの大小関係が次行の関係を満たす。
 $LAN1 < LAN2 < LAN3 < LAN4$
- ルータRの4つのIF(ネットワークインターフェース)には、接続するネットワークで使用可能な最も小さいアドレスを割り当てる。

- (2) 共通のサブネットマスクを使用することは条件とせず、ルータRに接続するネットワークが次の条件を満たすように設定する。ルータとLAN内のPCのアドレス割り当てに関する解答用紙の(2)の表を完成しなさい。

- $LAN1$ には50台のPCを、 $LAN2$ には25台のPCを、 $LAN3$ には12台のPCを、 $LAN4$ には110台のPCを、それぞれ接続可能にする。
- ルータRの4つのIF(ネットワークインターフェース)には、接続するネットワークで使用可能な最も小さいアドレスを割り当てる。



【後期募集】

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 問 題

No. 6-2

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	コンピュータネットワーク
------	------------------	------	--------------

問(b) インターネットにおける暗号化と認証に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 公開鍵暗号で用いられる二種類の鍵の名称を答えなさい。SSL暗号化通信において、サーバとクライアントはどのように二種類の鍵を利用するかを説明しなさい。
- (2) 公開鍵基盤(PKI)における認証局(CA, Certificate Authority)の役割はどのようなものであるかを説明しなさい。
- (3) 認証局がないと起きる問題を一つ挙げなさい。また、認証局を認証するためにはどうすればいいかを答えなさい。

【後期募集】

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入 学 試 験 間 題

No. 6-3

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	コンピュータネットワーク
------	------------------	------	--------------

- 問(c) 分散型証明の技術であるブロックチェーンが利用されているサービスを一つ挙げなさい。また、ブロックチェーンが信頼できる管理組織を必要としない理由を簡潔に説明しなさい。

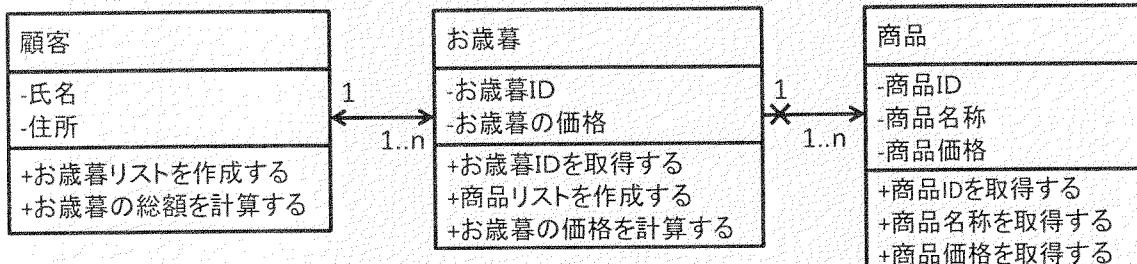
令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部 修士課程 工学専攻

入学試験問題

No. 7

コース等	コンピュータ理工学 コース	試験分野	ソフトウェア工学
------	------------------	------	----------

問(a) 下記のお歳暮の管理に関するクラス図について、クラス図の意味を説明せよ。その際、属性、操作、可視性、誘導可能性、多重度についても言及せよ。



お歳暮の管理に関するクラス図

問(b) 下記のエアコンの省エネランプ点灯システムの仕様を考える。

【エアコンの省エネランプ点灯システムの仕様】

冷房については 27.5°C以上、暖房については 20°C以下に温度を設定すると、エアコンの省エネランプが点灯する。

上記システムのテストに関して、次の小間に答えなさい。

- (1) テスト担当者の立場として、仕様に関して、確認すべき事項を答えなさい。
- (2) 同値分割・境界値分析を実施するときの、テストすべき設定温度について、考察しなさい。

令和2年度
山梨大学 大学院医工農学総合教育部

修士課程（工学専攻）後期募集

受験番号

入学試験解答用紙

コース等	コンピュータ理工学コース		
試験分野	コンピュータネットワーク	採点	

問（a）解答 （注意：各問について各1枚の解答用紙を使用すること。）

(1)

ルータ IF	IP アドレス	サブネットマスク
g0/1		
g0/2		
g0/3		
g0/4		

PC	割り当て可能な 最小の IP アドレス	割り当て可能な 最大の IP アドレス
pc1		
pc2		
pc3		
pc4		

(2)

ルータ IF	IP アドレス	サブネットマスク
g0/1		
g0/2		
g0/3		
g0/4		

PC	割り当て可能な 最小の IP アドレス	割り当て可能な 最大の IP アドレス
pc1		
pc2		
pc3		
pc4		

※ 裏面も使用するときは、☑を付して下さい。

□ 裏面あり